

加太小学校だより

<http://www.kameyama-mie.jp/kblog/kabuto/>

令和7年
12月8日
No.16

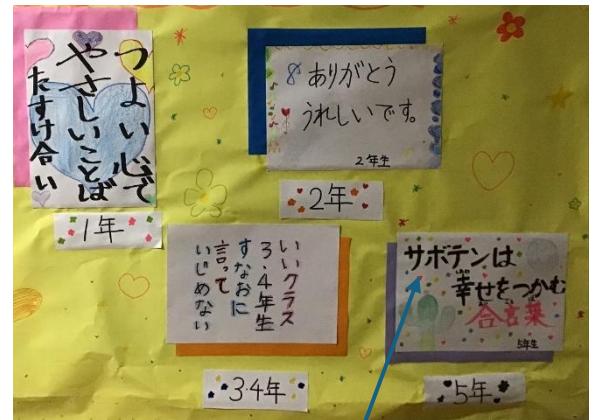


誰もが安心して学校生活を送るために

本校では、11月17日～11月21日をいじめ防止強化週間に定め、全ての児童が安心して学校生活を送ることを目的として、日常の行動や言葉を見つめ直す取組を行いました。児童会が中心となり、自分たちで考え、行動し、ふり返りにつなげる活動として、「いじめ防止標語大会」「ふわふわスタンプラリー」に取り組みました。

【いじめ防止標語大会】

各学級において、「学校で安心できる瞬間」「嬉しかった言葉・悲しかった言葉」「友だちと気持ちよく学校生活を送るために大切なこと」等を話し合いました。子どもたちは、自分の体験をふり返りながら様々な思いを出し合い、それらをもとに学級ごとのいじめ防止標語を作成しました。完成した標語は、児童玄関に掲示し、学校全体で共有しています。



(サボテンの花言葉：「幸運をつかむ」「温かい心」)

【ふわふわスタンプラリー】

いじめ防止につながる日常の行動をテーマ（友だちを自分から誘う・「ありがとう」「ごめんね」をきちんと伝える・気持ちのよいあいさつをする・やさしい言葉で話す・友だちのよいところを相手に伝える）として日替わりで設定し、帰りの会で自分の言動をふり返った上でスタンプを押していました。全校で共通のテーマに取り組んだことで、学校全体が温かい雰囲気に包まれました。

Kameyama Sports Week に取り組みました

Kameyama Sports Week(11月27日～12月3日)の期間中、本校では、「みんなの森トレイルランニング」に取り組みました。トレイルランニングでは、子どもたちの遊び場の一つになっている「みんなの森」の中を2周走りました。最初は、きついと感じていた子どもたちも、活動を続けるうちに「毎日続けることで、だんだんと体が動くようになってきた」「昨日できなかったことが、次の日には楽にできるようになった」とふり返っていました。

今回の取組を通して、子どもたちは、続けることの大切さや体を動かすことの心地よさを実感したのではないかと思います。今後も、日々の生活の中で積極的に体を動かす習慣を身に付けられるよう、様々な機会を設けていきます。また、子どもたちが自ら目標をもち、達成する喜びを味わえるような活動も継続して行っていきます。



食育の学習を通して

本校では、「栄養バランスの良い健康的な食事のとり方を理解すること」「地域の方々とつながり、その思いに触れることで、食べ物の生産などに関わる人々への感謝の心を育むこと」「生き物の命をいただき自分の命を養っていることに気付くことで、感謝の気持ちをもって食事をすること」の三点を目標に、養護教諭と栄養教諭を中心として食育の学習を進めてきました。

授業後に子どもたちが行った「食べること宣言」は、時間がたった今でもしっかりと覚えている児童が多く、その内容を自分の生活の中で意識している様子が見られます。こうした取り組みを通して、健康的な食生活を自ら考える力が、少しづつ身に付いてきています。



【児童のふり返りより】

- ・最近いっぱい食べるようになったから、おかわりをがんばりたいです。自分で決めた「食べること宣言」を家でももう1回決めたいと思いました。
- ・前に決めた宣言は達成しているので、次の宣言は「残さずに出されたごはんを全部食べる」にします。
- ・魚をぜんぜん食べていないから、食べて食事バランスをとのえたいなと思いました。
- ・私は今までまんがを読みながら食べていたけど、ごはんを食べるときはまんがを読むことをやめました。すると、家人の人と話をしながら楽しくごはんを食べられるようになりました。

【担任のふり返りより】

- ・給食の放送の中で「これは赤や」等、食材に対する意識が少しづつ芽生えてきた様子があります。
- ・給食を残す児童はいません。配膳も食べているときも丁寧にしている様子があります。常に気持ちをこめて「いただきます」「ごちそうさま」が言えています。
- ・「よくかむこと」「食べるときの姿勢(背筋や足)」を学級全員が意識できるように声をかけています。

複式4校オンライン交流会「かしのひオンライン」

12月5日に行われた、亀山市内の複式学級4校によるオンライン交流会では、本校がホスト校を務め、3・4年生が創立150周年記念イベントで発表した内容をもとに、加太小の魅力を紹介しました。クイズを取り入れたり、写真を使って昔と今の違いを比べたりと、他校の友だちにもわかりやすく伝わるように工夫して発表しました。

他校の子どもたちからは、「クイズが楽しかった」「写真で歴史の変化がよくわかった」「昔からの歴史を大切にしているところがすてき」などの感想が寄せられました。また、「発表に少し間があったので、次はなくすともっと良くなる」というアドバイスももらい、3・4年生は、「3学期の関小との交流会で活かしたい」と、次の発表へ向けて課題を明らかにすことができました。

今回のオンライン交流会を通して、「他校の視点で意見をもらえることで、自分たちの発表を客観的にふり返る力がつく」「自分たちの学びに取り入れようとする意欲が高まる」「自分の学校の魅力を再発見し、誇りをもつきっかけになる」といった他校との交流ならではの大きな成果が見られました。また、「みんなの森に行ってみたい」という他校の友だちの言葉に、3・4年生は大喜びで「いつでも来てください」と笑顔で応えていました。子どもたちが学び合い、高め合う姿が見られた、実りの多い交流会となりました。

